

経営比較分析表（令和元年度決算）

宮城県石巻市 石巻市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	9	-	ド訓	救感輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
142,638	23,921	非該当	10:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 方…ガン（放射線）診療

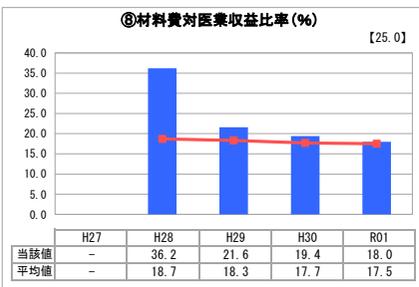
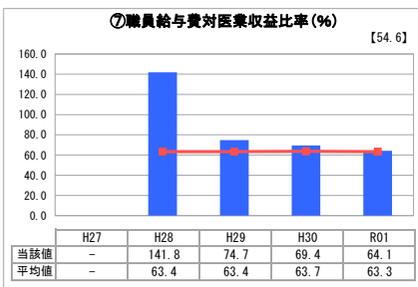
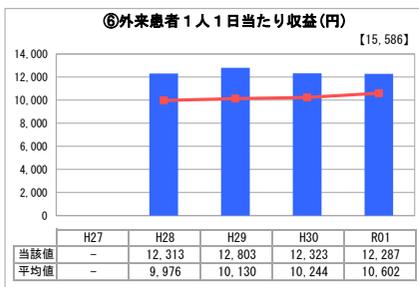
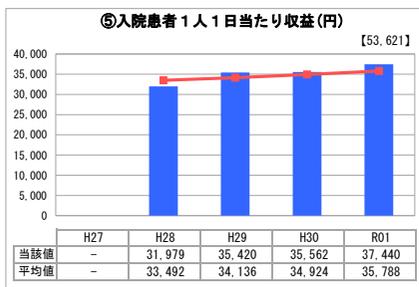
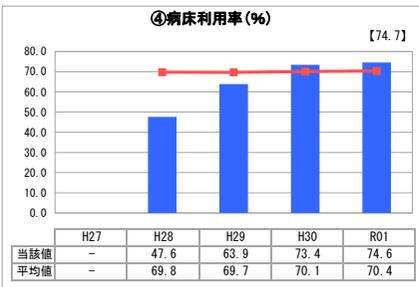
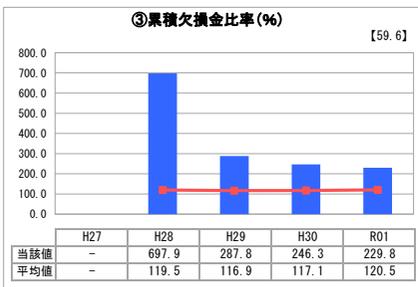
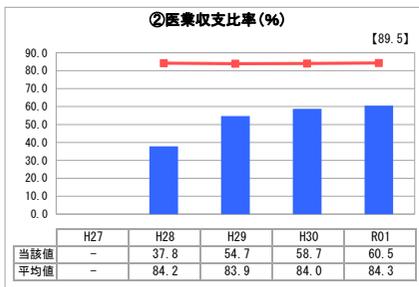
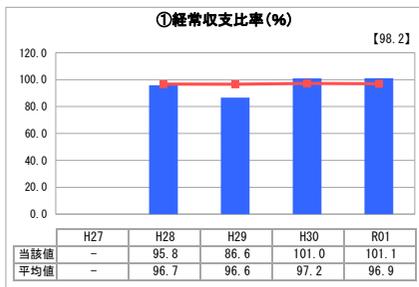
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
140	40	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	180
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
91	30	121

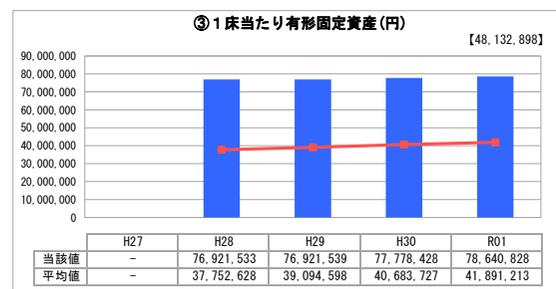
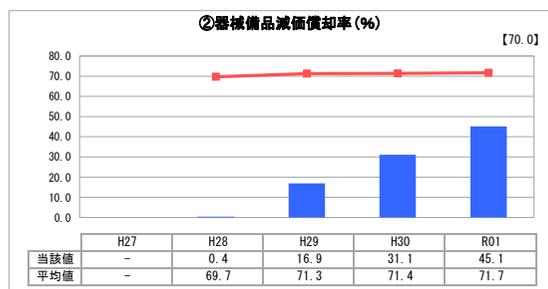
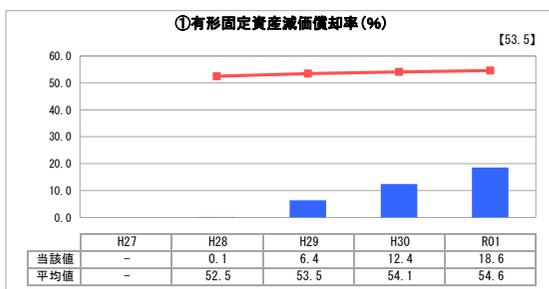
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

石巻赤十字病院をはじめとした二次、三次医療機関との連携を前提に、必要な急性期機能を有した上で、回復期、慢性期及び在宅医療等に取り組み、石巻圏域における「切れ目のない医療提供体制」の一端を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和元年度は、整形外科や耳鼻咽喉科の診療日数を増やすなど、診療体制を拡充したほか、地域包括ケア病床を増床し、医療機能の充実を図った結果、患者数は、入院・外来ともに前年度を上回り、医療収益についても、前年度を上回る結果（+1.4億円）となった。

月平均の病床利用率については、10～11月は70%を下回ったものの、それ以外の月は75%前後で推移し、年間平均74.6%（対前年+1.2ポイント）という結果となった。この病床利用状況の向上が、医療収支比率、累積欠損金比率、職員給与費対医療収益比率及び材料費対医療収益比率の改善に寄与したものと考えられる。

2. 老朽化の状況について

平成28年9月の新病院開院に当たって新築した病院本体及び新たに購入した器械備品等の減価償却が平成29年度から始まったため、有形固定資産減価償却比率及び器械備品減価償却比率ともに低い比率となっている。

1床当たり有形固定資産については、東日本大震災以降の復旧・復興事業が本格化する時期において、全国的な建設資材の不足による価格高騰や、技術者、作業員など人手不足に伴う労務費高騰により、病院建設事業費が増加したことが大きく影響しているものと思われる。

全体総括

入院、外来ともに患者数は増加基調にあるものの、目標値には達しておらず、医療収支比率についても平均値を大きく下回っていることから、より一層の経営の健全化を図っていく必要がある。

効率的な収入確保や経費削減に向けた課題の検討を行い、今後策定予定の次期「新病院改革プラン」を基に、質の高い医療の提供に努め、経営の安定化を図っていく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。